

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

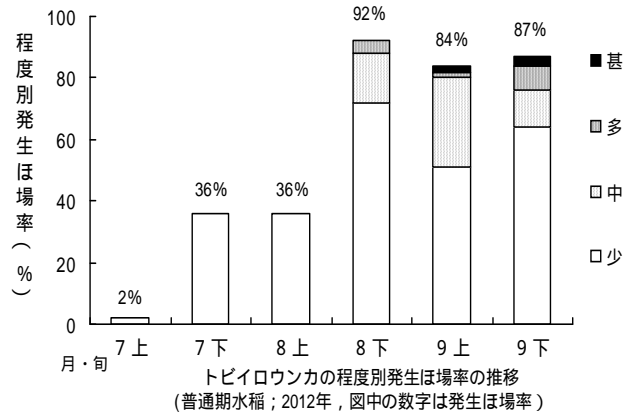
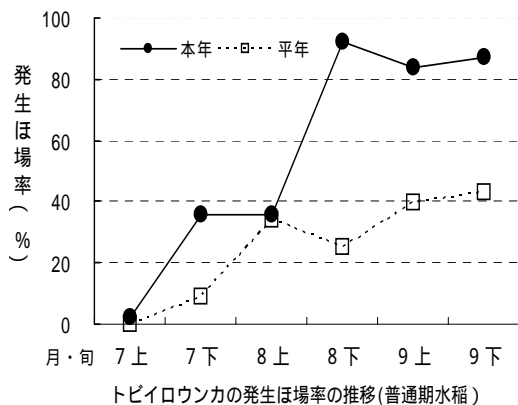
平成24年度 技術情報第10号（普通期水稻のトビイロウンカ）について（送付）

本年はトビイロウンカの発生が多く、これまでに技術情報第4号（7月12日付け）、技術情報第5号（7月20日付け）、注意報第2号（8月8日付け）及び注意報第3号（8月30日付け）を発表し、防除を呼びかけてきたが、中・晩生品種では収穫までまだ期間があるので、坪枯れ被害の発生が懸念されることから、今後の防除対策について、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

平成24年度 技術情報第10号

- 1 対象病害虫 トビイロウンカ
- 2 対象作物 普通期水稻（中・晩生品種）
- 3 発生状況

- (1) 9月12日～19日に県内31地点(62ほ場)で行った巡回調査での発生ほ場率は、87%(平年43%)と平年に比べて高く(表1)、依然として発生密度の高いほ場や坪枯れ被害も一部で確認されている。
- (2) また、発生ほ場のうち、増殖率の高い短翅型雌成虫の発生ほ場率が76%と依然高い状況にあるため、今後、飛来第3世代虫による坪枯れ被害の発生が懸念される。

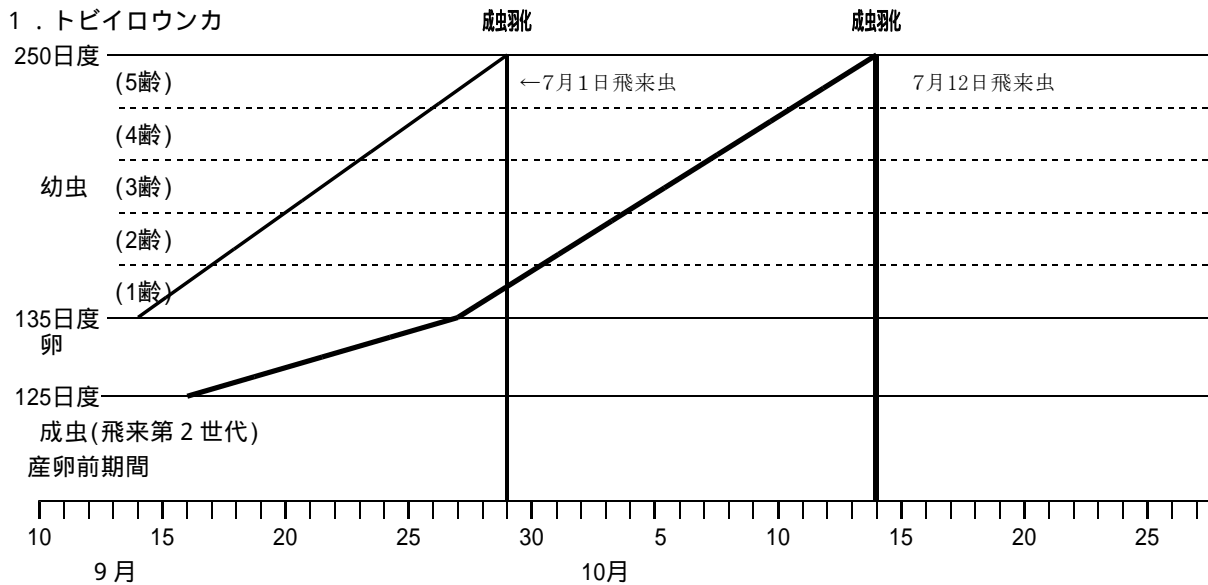


4 防除対策及び防除上注意すべき事項

- (1) 本虫の発生状況は、ほ場毎に大きく異なるとともに、ほ場外からの観察では確認できないので、ほ場の中まで入って稲の株元を確認し、発生を認めた場合は早急に防除する。
- (2) 本虫は稲の株元に生息するので、粉剤や液剤を使用する場合は、薬剤が株元に十分届くよう散布する。
- (3) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準、特に収穫前日数を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

(参考資料)

トビロウカの有効積算温度による発育経過予測図 (鹿児島地方気象台：加世田のデータを使用)  
鹿児島県病害虫防除所 2012年 9月20日 作成



(注) 気温の低い地域では、本予測より数日程度遅くなる。

表1 トビロウカの発生状況 (調査日：9月12日～19日)

地域名	発生ほ場率 (%)		調査ほ場数
	本年	平年	
南薩	90	42	10
北薩平坦	79	48	24
北薩山間	91	41	22
大隅	100	35	6
県計(平均)	87	43	62

平年は、2002年～2011年の平均値

巡回調査地点

南薩：南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目  
日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，始良市三拾町・蒲生町楠田  
霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎町・高江町  
出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田  
薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手  
伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方

大隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里